

お客様へ

2016年12月8日
 オムロン株式会社
 電子機器統轄事業部
 UPS 事業部

Mac OS X 10.11.x/10.12.x 用 自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」のご使用について

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」を Mac OS X 10.11.x/10.12.x をご使用するための手順については、本書にて下記の通り報告いたします。
 何卒、ご査収を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

Mac OS X 10.11.x/10.12.x にて、自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」をご使用される場合は、次の手順に従って設定することで使用することができます。

【Master Agent をご使用する場合】

1. 最新の PowerAct Pro MasterAgent (Ver4.7) をインストールしてください。
2. インストール完了後、次の設定を行ってください。

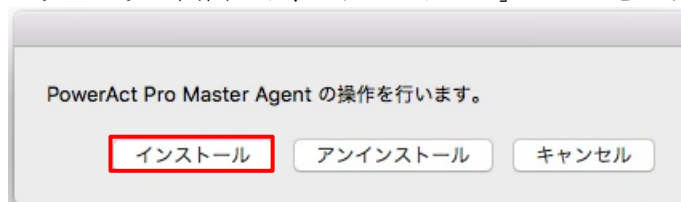
(1) OS 起動時に「PowerAct Pro Master Agent」を自動起動できるように設定する。

<手順>

- ① “PowerAct Pro 設定変更ツール” を PowerAct Pro Master Agent をインストールしている Mac コンピュータのハードディスクに保存し、解凍してください。
 保存する場所は、任意のフォルダを作成してください。



- ② “PowerAct Pro 設定変更ツール” をダブルクリックしてください。
- ③ ポップアップ画面より、「インストール」ボタンをクリックしてください。



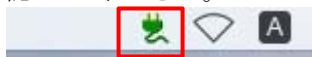
- ④ 管理者権限のユーザ名とパスワードを入力し、“OK” ボタンをクリックしてください。



- ⑤ 次の画面が表示されたら、Mac コンピュータを再起動してください。



- ⑥ 再起動後、次のようにメニューバーに PowerAct Pro アイコンが表示されることを確認してください。



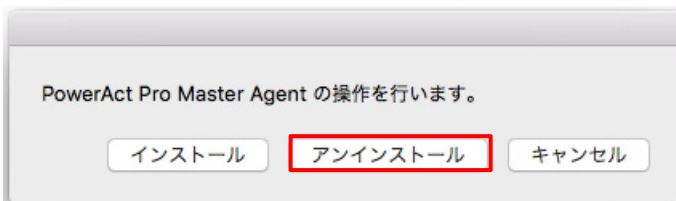
以上で、“PowerAct Pro 設定変更ツール” の設定は完了です。

----- 【参考情報】 -----

OS の設定を元に戻す場合は、次の手順に従って操作してください。

<手順>

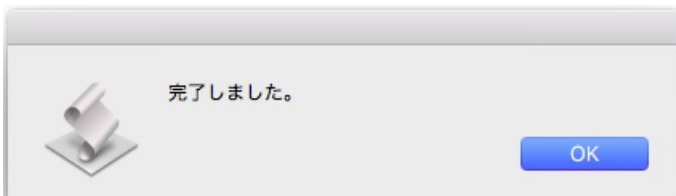
- (A) (1) 項①で解凍したファイル “PowerAct Pro 設定変更ツール” をダブルクリックしてください。
- (B) “アンインストール” ボタンをクリックしてください。



- (C) 管理者権限のユーザ名とパスワードを入力し、“OK” ボタンをクリックしてください。



- (D) 次の画面が表示されたら、“OK” ボタンをクリックしアンインストール完了してください。



(2) PowerAct Pro の設定画面にログインできるように設定する

<手順>

① ポップアップの許可を設定する

ブラウザの「環境設定」-「セキュリティ」の「ポップアップウィンドウを開かない」のチェックを外してください。



② Apache 設定ファイルを変更する

Apache の設定に関する 2 つのファイルの記述内容を変更してください。

変更にあたっては、テキストエディタなどを使用して記述内容を変更してください。

(A) /etc/apache2/parenw.conf ファイルの変更

「Allow from all」をコメントアウトして、「Require all granted」を追加します。

(2 か所あります)

【修正前】

```
<Directory "/Library/WebServer/htdocs">
Options Indexes FollowSymLinks
AllowOverride None
Allow from all
#Order deny,allow
#Deny from all
#Allow from 127.0.0.1
</Directory>
```

【修正後】

```
<Directory "/Library/WebServer/htdocs">
Options Indexes FollowSymLinks
AllowOverride None
# Allow from all
Require all granted
#Order deny,allow
#Deny from all
#Allow from 127.0.0.1
</Directory>
```

【修正前】

```
<Directory "/Library/WebServer/cgi-bin">
AllowOverride None
Options None
AllowOverride None
Allow from all
#Order deny,allow
#Deny from all
#Allow from 127.0.0.1
</Directory>
```

【修正後】

```
<Directory "/Library/WebServer/cgi-bin">
AllowOverride None
Options None
AllowOverride None
# Allow from all
Require all granted
#Order deny,allow
#Deny from all
#Allow from 127.0.0.1
</Directory>
```

(B) /etc/apache2/httpd.conf ファイルの変更

- ① ファイルの先頭に「Include /etc/apache2/parenew.conf」を追記してください。
記載がある場合は、追記は不要です。

(参考情報)

PowerAct Pro Master Agent のインストールにより、自動で追加されますが、PowerAct Pro Master Agent インストール後に、OS X のアップグレードを行った場合は削除されている可能性があります。

```
Include /etc/apache2/parenew.conf
```

```
#
# This is the main Apache HTTP server configuration file. It contains the
# configuration directives that give the server its instructions.
```

- ② 「#LoadModule cgi_module libexec/apache2/mod_cgi.so」のコメントアウトを外して有効にしてください。

【修正前】

```
# Dynamic Shared Object (DSO) Support
#
# To be able to use the functionality of a module which was built as a DSO you
# have to place corresponding `LoadModule' lines at this location so the
# directives contained in it are actually available _before_ they are used.
# Statically compiled modules (those listed by `httpd -l') do not need
# to be loaded here.
#
# Example:
# LoadModule foo_module modules/mod_foo.so
#
LoadModule authn_file_module libexec/apache2/mod_authn_file.so
:
<中略>
:
#LoadModule cgi_module libexec/apache2/mod_cgi.so
:
```



【修正後】

```
# Dynamic Shared Object (DSO) Support
#
# To be able to use the functionality of a module which was built as a DSO you
# have to place corresponding `LoadModule' lines at this location so the
# directives contained in it are actually available _before_ they are used.
# Statically compiled modules (those listed by `httpd -l') do not need
# to be loaded here.
#
# Example:
# LoadModule foo_module modules/mod_foo.so
#
LoadModule authn_file_module libexec/apache2/mod_authn_file.so
:
<中略>
:
LoadModule cgi_module libexec/apache2/mod_cgi.so
:
```

以上の内容を変更後、ファイルを上書き保存してください。

(C) Apache の再起動

- コンソール画面より「sudo apachectl restart」コマンドを実行して Apache を再起動してください。

(D) PowerAct Pro 画面の確認

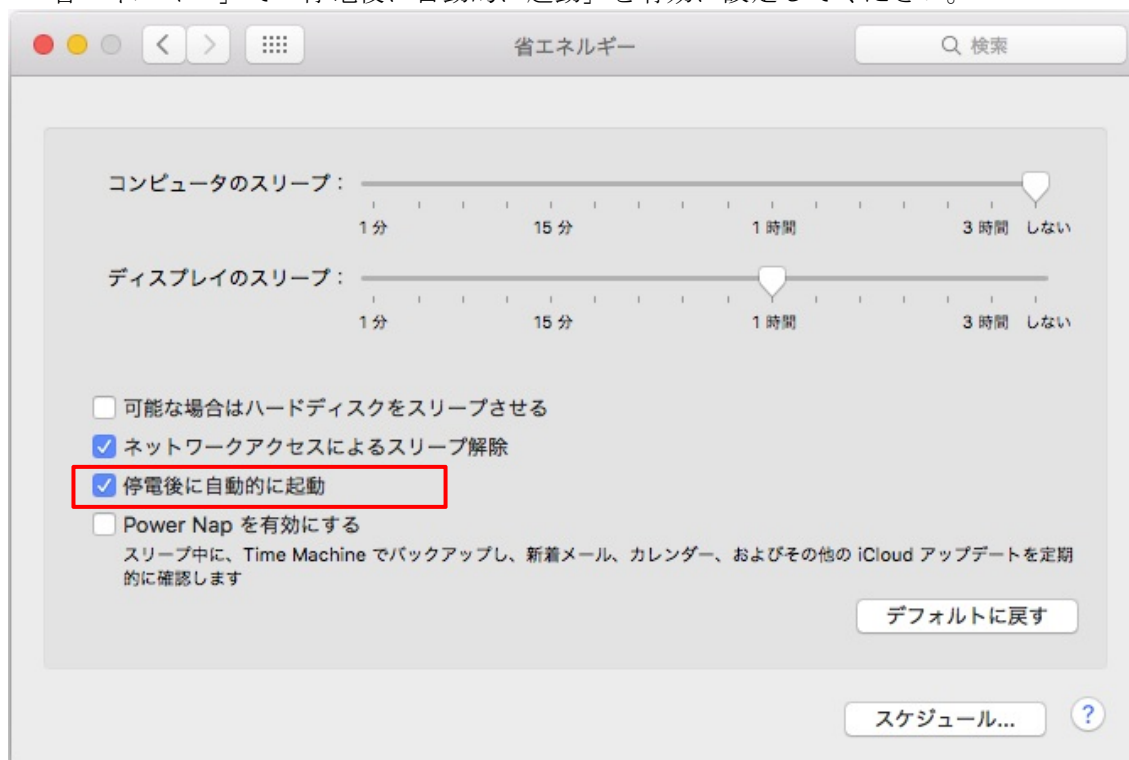
デスクトップ上の PowerAct Pro のアイコンをクリックして、次のように PowerAct Pro モニタ画面が表示されることを確認してください。

【PowerAct Pro モニタ画面】



(3) Mac コンピュータを自動再起動できるように設定する

停電後に Mac コンピュータを自動再起動できるようにするために、OSの「システム環境設定」-「省エネルギー」で「停電後に自動的に起動」を有効に設定してください。



【ネットワーク経由で Mac コンピュータをシャットダウンする場合】

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」のスクリプトシャットダウン機能を使用してネットワークに接続されている他の Mac コンピュータ (Mac OS X 10.11.x/10.12.x) をシャットダウンさせることが可能です。

ネットワーク経由で他の Mac コンピュータをシャットダウンさせたい場合には、次の手順に従って設定してください。

他の Mac コンピュータをシャットダウンさせる必要がない場合には、本設定は不要です。

<手順>

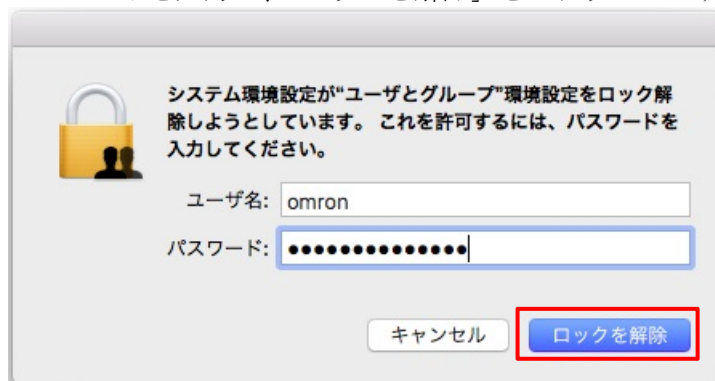
1. Mac OS X の設定

(1) root ユーザの有効化

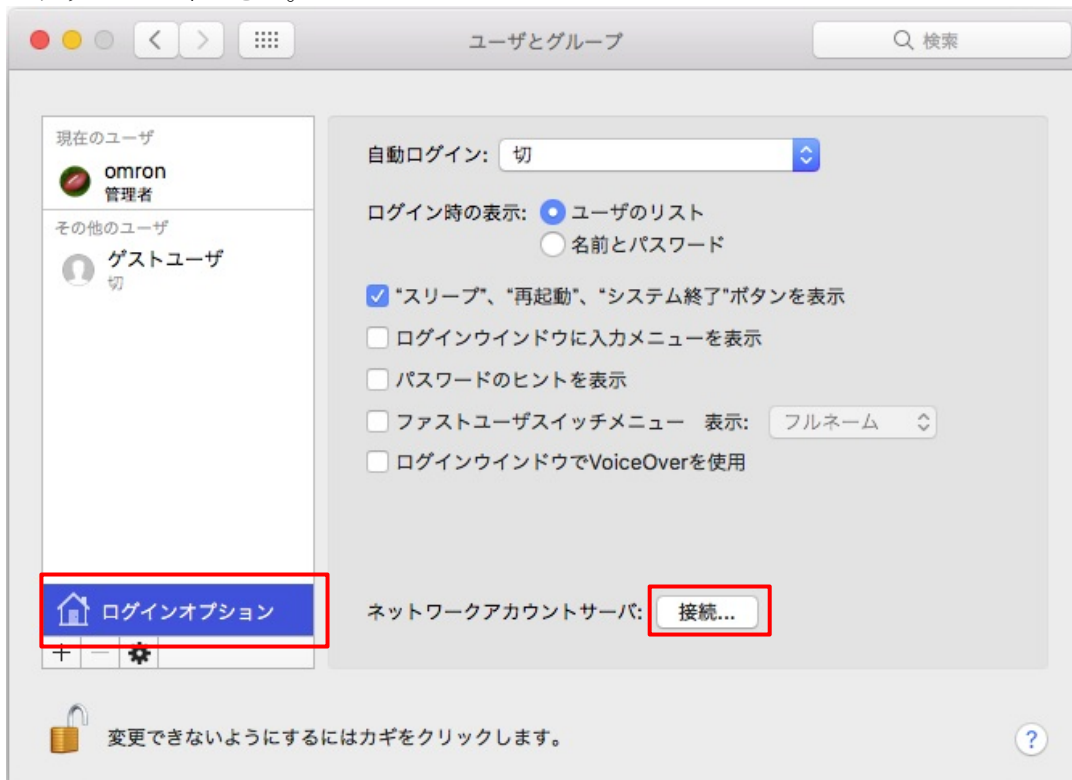
「システム環境設定」－「ユーザとグループ」を開き、カギマークをクリックしてください。



(2) パスワードを入力し、「ロックを解除」をクリックします。



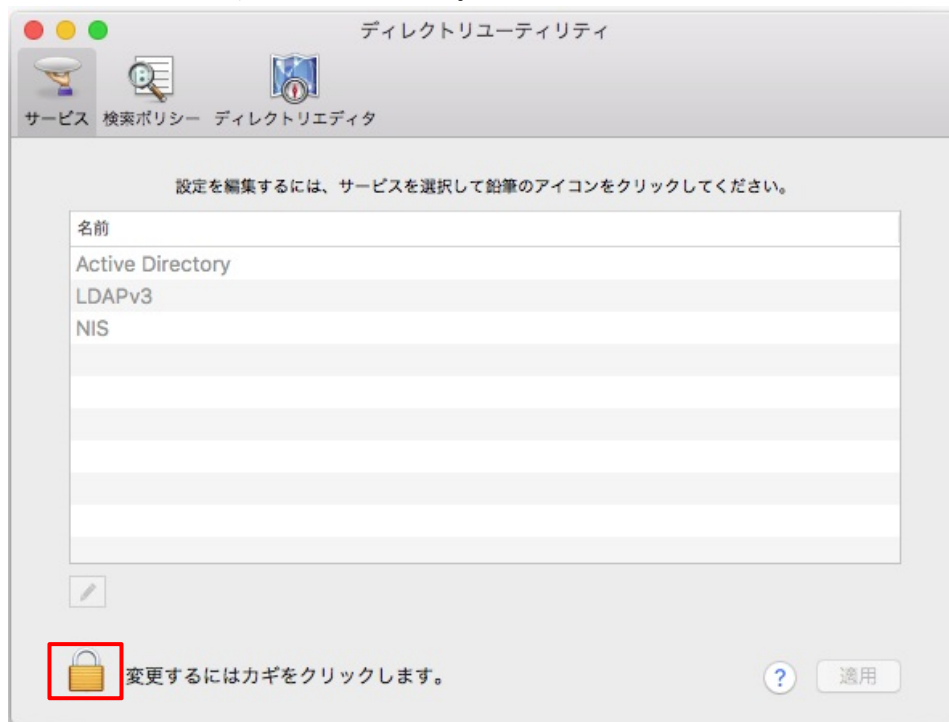
- (3) 「ログインオプション」をクリックし、ネットワークアカウントサーバの「接続」をクリックしてください。



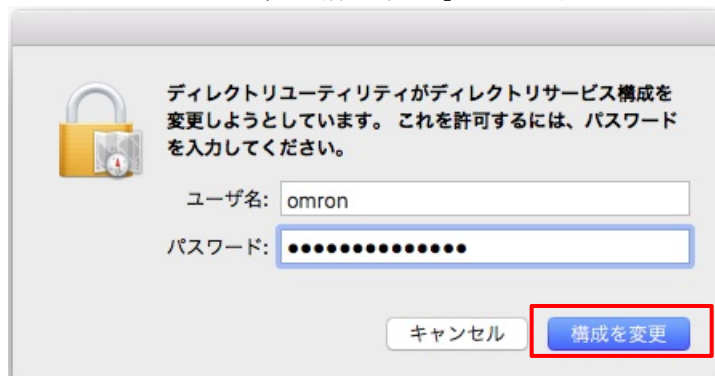
- (4) 「ディレクトリユーティリティを開く」をクリックしてください。



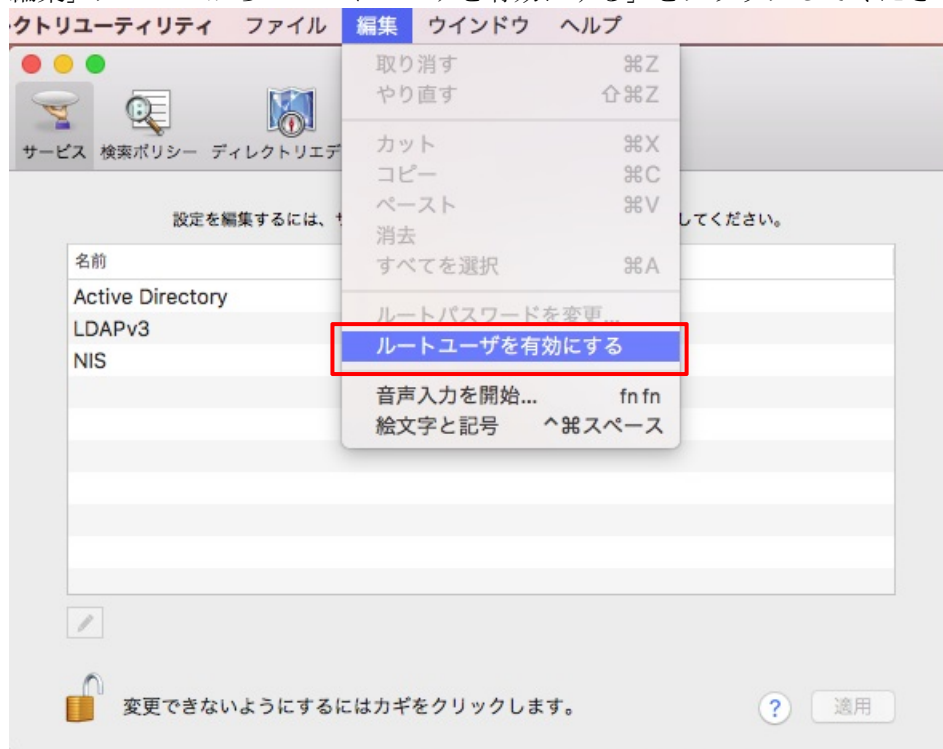
(5)カギマークをクリックしてください。



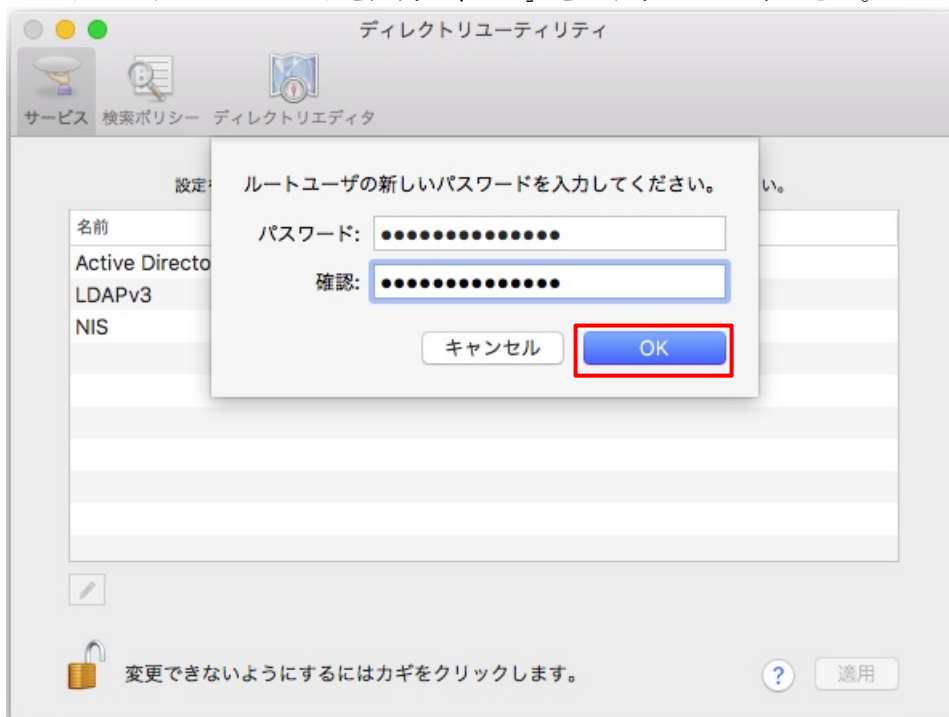
(6)パスワードを入力し、「構成を変更」をクリックしてください。



(7) 「編集」メニューから「ルートユーザを有効にする」をクリックしてください。

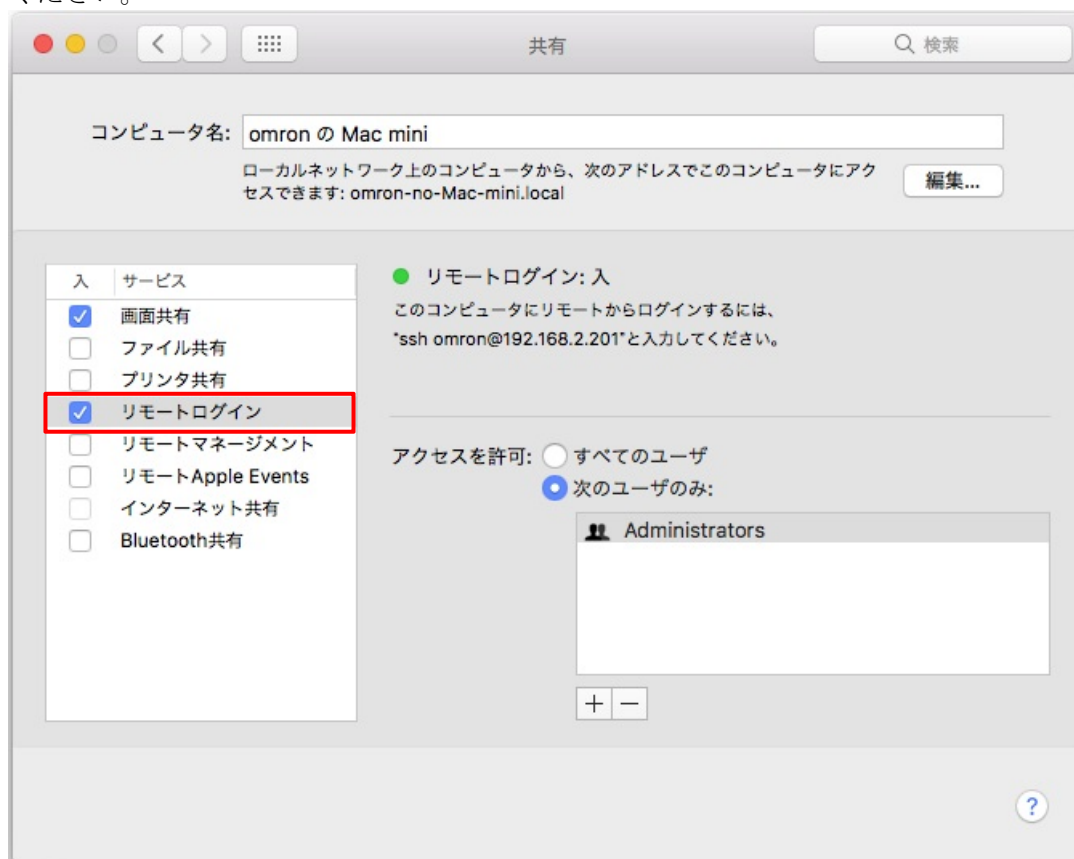


(8) ルートユーザのパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。



(9) リモートログインのアクセス許可設定を変更

「システム環境設定」 - 「共有」を開き、「リモートログイン」にチェックを入れてください。



※ ssh の設定ファイルは、変更する必要はありません。

以上で、Mac OS の設定は完了です。

引き続き、自動シャットダウンソフトの設定に進んでください。

2. 自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」の設定

(1) PowerAct Pro モニターを開き、「環境設定」をクリックしてください。

127.0.0.1

OMRON

手動エージェント検索: 検索

システム ログ UPS 設定 手動操作 ヘルプ

日時: 2016年10月31日 15:27:43 次回のバッテリー交換: 2017-09-27
 前回のバッテリー使用開始日(交換日): 2016年09月24日

環境設定

スケジュール
 イベント情報
 イベントログ
 データログ
 終了アプリケーション情報
 エージェント検索
 ヘルプ

UPS型式: BY50FW
 UPS状態: 商用運転中
 出力コンセントA (制御なし): 出力中
 出力コンセントB (制御あり): 未対応
 出力コンセントC (制御あり): 未対応
 バッテリー状態: 正常
 増設バッテリー:

ブザー: ならさない
 ファンクションテストステータス: する
 バッテリー自動テスト: する
 UPSコールドスタート機能: しない
 出力電圧/入力感度: 100V/標準感度
 UPS自動再起動: する

通信ポート: USB 1 設定
 テスト結果:

入力電圧:	40	60	80	100	120	140	100.3 V
出力電圧:	40	60	80	100	120	140	100.3 V
入力周波数:	40	45	50	55	60	65	49.9 Hz
出力周波数:	40	45	50	55	60	65	49.9 Hz
接続容量:	0	25	50	75	100	125	8 %
バッテリー容量:	0	25	50	75	100	125	100 %

(2) 「スクリプトシャットダウン」画面を開き、「追加」ボタンをクリックしてください。

127.0.0.1

OMRON

> シャットダウンパラメータ > UPS起動/再起動 > ログオプション > 通信設定

>> シャットダウンパラメータ

エージェント選択
 冗長電源設定
 その他のデバイス
 Wake ON LAN 設定
 出力コンセント情報
 スクリプトシャットダウン

スクリプトシャットダウン設定

No.	OS	プロトコル	IPアドレス	一般ユーザ	管理者ユーザ	修正	削除

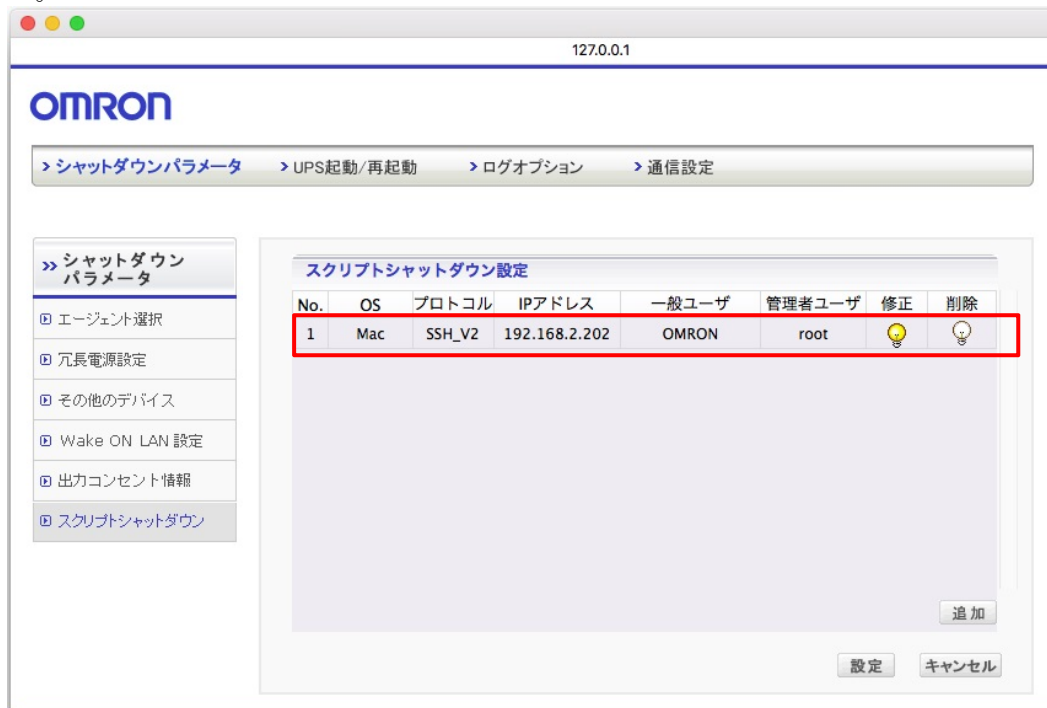
追加
 設定 キャンセル

- (3) 次の画面のように、各項目に必要な情報を入力し、「テスト」ボタンをクリックし、Mac コンピュータがシャットダウンできるか確認してください。
Mac コンピュータがシャットダウンできましたら、「設定」ボタンをクリックしてください。
Mac コンピュータがシャットダウンできなかった場合は、再度スクリプトシャットダウン設定、1項のMac OSの設定を確認してください。

(各設定項目の内容)

OS	「Mac」を選択
プロトコル	「SSH_V2」を選択
IP アドレス	シャットダウン対象 PC の IP アドレスを入力します。
接続機器名	シャットダウン対象 PC の任意の名称を入力します。
一般ユーザ ID	シャットダウン対象 PC の一般ユーザ ID を入力します。
一般ユーザパスワード	一般ユーザのパスワードを入力します。
管理者ユーザ ID	「root」を入力します。
管理者ユーザパスワード	「root」ユーザのパスワードを入力します。
リトライ回数	リトライ回数を設定します。
タイムアウト	タイムアウト時間を設定します。
コマンドライン	「halt -u」を入力します。

- (4) 次の画面にてスクリプトシャットダウン設定が追加されていることを確認してください。



以上で、ネットワーク経由で他の Mac コンピュータをシャットダウンさせる設定は完了です。

以上